

「VATSAT を用いた術後自己評価の運用可能性と 妥当性に関する予備的検討」について

当科では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で審査され病院長の承認を受けています。

＜研究の背景・意義＞

胸腔鏡下肺葉切除術は、現在広く行われている標準的な手術方法です。このような手術を安全に行うためには、若手医師が手術手技を適切に習得し、自らの手技を振り返ることが重要と考えられています。一方で、手術後に自分の手技をどのように評価し、教育に活かすかについては、十分に検討されていません。

本研究では、既存の手技評価表（VATSAT）を用いて、術後に手術手技を評価する方法が、実際の診療現場でどの程度実施可能かを検討します。

＜研究の目的＞

本研究の目的は、胸腔鏡下肺切除術後に、手術動画を用いて手技評価を行う方法の運用可能性を検討することです。あわせて、若手医師による自己評価と指導医による評価の関連を調べ、今後の外科教育の向上に役立てることを目的としています

＜研究責任者・研究組織＞

京都桂病院呼吸器センター呼吸器外科 医師 石角 まひろ

＜対象となる患者さん＞

2026 年 2 月以降に、当院で胸腔鏡下肺葉切除術を受けられた患者さんが対象となります。

＜研究期間＞2029 年 2 月 28 日までを予定しています。

＜研究の方法・使用する項目など＞

本研究では、新たな治療や検査は行いません。通常診療の中で記録されている手術動画、診療録の情報をを用いて、医師の手術手技評価を行います。評価は、若手医師および指導医が、手術後に評価表を用いて行います。

＜個人情報の取り扱い＞

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。また特定の個人を識別することができないよう、研究対象者に番号を付与したうえで、対応表はパスワードを設定したファイルに保存します。紙媒体で作成された評価表は、研究責任

者が管理し、施錠可能な場所に保管します。電子化したデータは匿名化したうえで、パスワード管理された端末に保存します。

<研究成果の発表について>

研究結果はまとめて、学会や出版物として公表することがありますが、その場合でも個人情報漏れることはありません。プライバシーは守られます。

<データ提供による利益と不利益>

研究に参加されなくても今後の診療を受けるうえで不利益はありません。この研究は過去の診療録などの情報を用いた観察研究です。また、この研究で対象となる手術は適応が承認され保険適応された日常保険診療として行われる治療法です。研究に参加された場合、患者さんに対して利益・不利益のどちらも発生することはありません。予定外の治療や検査、薬が追加されることもありません。

<データ利用の拒否と中止>

診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先にお申し出ください。この研究から除外します。その場合でも今後の診療を受けるうえで一切の不利益はありません。

<本研究の資金源（利益相反）>

本研究に関する外部資金はありません。開示すべき利益相反はありません。

<問い合わせ先>

本研究に関するご質問等がありましたら担当医師まで問い合わせ下さい。

問い合わせ先

京都桂病院

京都市西京区山田平尾町 17 番地

TEL：075-391-5811(代表)

責任医師：呼吸器センター呼吸器外科 部長 青山晃博

主任研究者：呼吸器センター呼吸器外科 専攻医 石角まひろ